

街なか居住推進セミナー

# 新しい住宅供給方式の提案

～定期借地方式の解決策やコーポラティブ方式を事例をもとに紹介します～

とき 平成21年 **2月19日[木]** 13:30～16:30

ところ **とりぎん文化会館** 第1会議室 (鳥取市尚徳町101-5)

参加料 **無料** (申込不要)

## 〈プログラム〉

13:30～13:40 開会あいさつ、鳥取市の街なか居住について

13:40～14:20

### セミナー1部

「街なか居住に関する支援策について」

講師 **松井 康治**さん (国土交通省中国地方整備局建政部 都市・住宅整備課長)

14:25～15:25

### セミナー2部

「地方都市における定期借地権住宅の可能性」

～地方都市の街なかで定期借地を活用した住宅供給の意義、可能性と成功へのキーポイントについて解説～

講師 **小林 秀樹**さん (千葉大学教授)



15:30～16:30

### セミナー3部

「潜在需要に応えるコーポラティブ方式の事例と実務」

～鳥取市ではまだ事例のないコーポラティブ方式について、その魅力と効果、事業スケジュールやコーディネーターの役割等を事例をもとに紹介～

講師 **天宅 毅**さん (㈱キューブ 代表取締役)



主催：鳥取市

後援：(社)鳥取県宅地建物取引業協会東部支部・(社)鳥取県建築士事務所協会東部支部  
(社)鳥取県建築士会東部支部



## 〈開催趣旨〉

鳥取市の中心市街地では、平成15年からの4年間で空地や駐車場などの低未利用地が約2.6haも増加しています。老朽化に伴い住宅が解体され、駐車場となる状況が進行しているのです。

鳥取市は昨年11月に有識者をメンバーとした「鳥取市街なか居住推進調査研究会」を発足させ、街なかに住宅が供給されるサイクルの構築を目指し研究しているところですが、地価の高い街なかでは、今まで通りの住宅供給をしても限界があること。これが一つの課題で挙げられています。

そこで、地価を顕在化させない手法の一つ「定期借地方式」の地方都市での可能性について第一人者である小林秀樹氏、鳥取でいまだ普及していない「コーポラティブ方式」の魅力について主に関西方面でご活躍されている天宅毅氏、また、街なか居住に関する国の支援策について国土交通省より松井康治氏をお招きしセミナーを開催いたします。

多数の皆様のお越しをお待ちしております。

## 〈プロフィール〉

### ◆松井 康治 (まつい こうじ)

兵庫県姫路市出身。平成11年建設省入省。主に住宅行政に携わり、平成19年4月より現職。

### ◆小林 秀樹 (こばやし ひでき)

1977年東京大学工学部建築学科卒業。1985年同大学博士課程卒業、工学博士。

建設省建築研究所、国土技術政策総合研究所を経て、千葉大学教授(建築・都市科学専攻)。

住宅問題、建築計画を専門とする。著書に「新・集合住宅の時代」NHK出版(1997)、「スケルトン定借の理論と実践」学芸出版(共著2000)、他多数。日本不動産学会業績賞(1996)、都市住宅学会賞(1998、2003)、建築学会賞(2007)、清水康雄賞(2008)を受賞。

スケルトン型定期借地権住宅(つくば方式)の第一人者。

### ◆天宅 毅 (あまやけ たけし)

株式会社キューブ 代表取締役。一級建築士。

大手デベロッパーにて企画・設計・営業・業務に携わった後独立。

1995年の阪神大震災で倒壊した住宅の再建が大手主導では進まない実情を見て、自ら再建事業に参画し、コーポラティブ方式によって大きな成果をあげた。

以後、関西地域でコーポラティブハウスやリノベーションの企画・コーディネートなど数多く手がけている。

## 交通案内

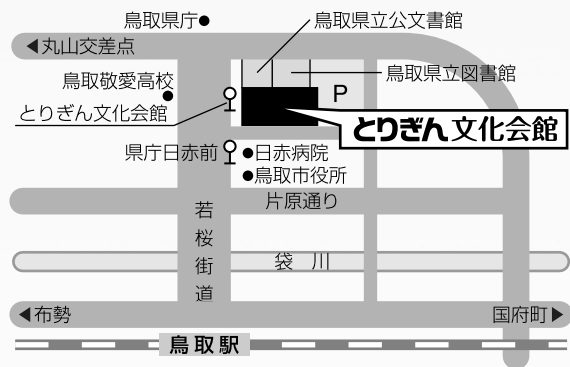
### 〈徒歩〉

JR鳥取駅から若桜街道を県庁方向へ20分

### 〈バス〉

- 路線バスは、「県庁日赤前」で下車(鳥取駅より約5分)
- 100円循環バス「くる梨」は、「とりぎん文化会館」で下車(鳥取駅から約15分、20分おきに運行)  
【とりぎん文化会館 TEL(0857)21-8700】

※駐車場には限りがありますので、できるだけ公共交通機関等をご利用ください。これを機会に街なかを歩いてみませんか。



お問い合わせ

## 鳥取市都市整備部市街地整備室

TEL(0857)20-3276 FAX(0857)20-3048 E-mail shigaichiseibi@city.tottori.lg.jp

